

事例 中山間地域を自転車でつなぎ活性化(安足地域)

佐野市の中山間地域では、過疎化・少子高齢化が急速に進む中、地域の活力低下に危機感を抱いた地元の若手有志によって、自転車を活用して、地域活性化を目指す団体「サイクルタウンさの」が発足しました。同団体は「人を元気に!」「まちを元気に!」をテーマに、サイクリスト誘致のため各所にサイクルスタンドを設置するとともに、「宇都宮ブリッツェン」と協力して地元小学校で自転車安全教室を開催するなど、関係人口(農村ファン)の増加を促す活動を進めています。

さらに、協働活動理解促進事業を活用し、「ブリッツェンラヴァーズ」の協力も得て、市内各団体の活動や施設を自転車で周遊しながら紹介する地域のPR動画を作成・配信しました。

各施設や体験活動等のコンテンツをつなぐ核(横の連携)である同団体の活動を引き続き支援し、誘客促進や関係人口の増加を図っていきます。



地域PR動画のオープニング画面



サイクリストと地元の活性化団体

(3)誘客促進等による農村の活性化

県では、農村地域への誘客促進等による農村の活性化を図るため、グリーン・ツーリズムを「人づくり」、「組織づくり」、「情報発信」の観点から総合的に推進しています。

①人づくり

農業系高校生及び県農業大学校生を対象に、将来のグリーン・ツーリズムを担う人材の確保・育成を目的とした講座「ふるさと発見 グリーン・ツーリズム入門塾」を実施しました。

②組織づくり

滞在型のグリーン・ツーリズムを総合的に推進するため、相談窓口の運営や、受入体制の構築・強化を目指す組織への専門アドバイザー派遣等を行いました。



ふるさと発見 グリーン・ツーリズム入門塾



専門アドバイザーによる研修会

③情報発信

農村への誘客プロモーション「季節を楽しむ！とちぎの農村めぐり2020」として、オリジナルキャラクターが農村地域の魅力を紹介する漫画をSNS等で配信するとともに、季節ごとの農村地域のPR動画をYouTube等で配信しました。

また、農村地域の魅力的なスポットや隠れた見所を巡る「農村わくわくスマホラリー」の年2回の実施に加え、農村を訪れる人が安心してグリーン・ツーリズムを楽しむことができるよう、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に取り組む都市農村交流施設を巡る「とちぎの農村めぐりレビュー投稿キャンペーン」を実施しました。



とちぎの農村めぐり2020ポスター



季節ごとの農村地域のPR動画(秋編)

事例 周遊レビュー投稿キャンペーンの実施(都市農村交流施設活性化事業)

県では、都市住民等が安心して栃木県の農村地域に來訪できるよう、農産物直売所などの都市農村交流施設で取り組まれている感染防止対策の工夫や対策を講じた体験メニューなどの情報を特設サイト内で紹介するとともに、おすすめの周遊ルートに掲載するなど、ウィズコロナ下における農村地域への誘客促進に取り組みました。

また、周遊ルートを巡り、レビューを投稿した方を対象に、抽選で賞品が当たる「周遊レビュー投稿キャンペーン」を実施しました。レビューの投稿により、栃木県の農村地域で楽しむことができる体験や食事などに関する情報が体験者の生の声として発信され、施設の安全性が効果的にPRされるとともに、本県の農村地域の魅力が新たに発見されるきっかけとなりました。



レビュー投稿キャンペーンチラシ



特設サイトにルートを掲載

事例 宙に浮く新感覚テント導入による農村地域への誘客促進の取組(河内地域)

観光農業実践者と着地型旅行会社が、宇都宮北部グリーンツーリズム協議会を設立し、竹林や栗を生かした農業体験と宇都宮北西部に点在する観光資源や地域農産物を組み合わせ、農村地域に誘客する取組に着手しました。

同協議会では、年間を通じて観光客を受入れる体制を整えるため、農村ファン受入体制支援事業を活用して「将来ビジョン」を策定し、新たに竹林で宿泊できるハンモックテントの導入によるキャンプ場を整備しました。また、地域の良さを深く知ってもらうため、宇都宮北西部の農産物収穫体験や観光資源等を組み合わせたキャンプツアーを開発しました。

今後も、農業と観光連携による新たなツアーの実施を通じて、関係人口の創出拡大につなげていきます。



竹林におけるビジョン策定検討会



新たに導入したハンモックテント

事例 県内外の企業と連携した持続可能な農村地域の活性化の取組(上都賀地域)

耕作放棄地の増加や後継者不足をはじめとする地域課題の深刻化を受け、日光市所野地区の地域組織「霧降高原の美しい森づくり協議会」と、地元の観光業や県内外の企業が連携し、地域住民と都市住民が一緒に楽しみながら地域を元気にする活動が開始されました。

令和2年10月には、日産自動車(株)本牧専用埠頭及び栃木日産自動車販売(株)の社員の方々が参加し、所野地区の里山エリアの遊休農地に菜の花を種する体験と、構成員である地元観光業者が提供するアクティビティを組み合わせたプログラムが試験的に実施されました。菜の花が咲く時期に、更なる企業連携を進める取組が計画されています。

上都賀地域では、今後も農村地域の活性化に向けて様々な取組を推進していきます。



遊休農地を活用した菜の花のは種作業



参加した県内外の企業の方々地域組織